

## <6月のギャラリー展示>

### 『本に小さな野原を…』紙に刺しゅうした草花しおり展

6月の展示は、三恵子さんがいつもMICHIRUBAのショップに、病院内での本を読む時間に役立つようにと協力してくれている、草花の葉を展示しました。

布にではなく、紙に糸で刺しゅうするようになったきっかけを伺うと、「絵を描くことや絵具を混ぜて色を作ることが苦手だったから。紙にクロスステッチの穴をあけて糸で刺せば、多色な刺しゅう糸と色紙の組み合わせで配色もできると気づき、表現することが楽しくなりました。」と、話してくれました。

印刷ではない葉は、糸の手触りが温かです。今回の展示に、野原を散歩する物語の、四葉のクローバーとタンポポ、小さな虫たちを作って頂きました。

### 『風を起こすバッジ』

三恵子さんは、『風を起こすバッジ』を病院から依頼され、制作されました。作りながら、バッジをつけている医療従事者さんとそれをみた患者さんの気持ちが、よい方向へ切り替わるスイッチの役目に、という想いを込めながら、手を動かしたそうです。

由季子



### 『風を 起こすバッジ』

一見、風車のようにも見える  
このバッジをつけている人は  
Model Nurse (モデルナース)、  
Service Leader (サービスマスター)  
新しい風を起こす人達です。

**Model Nurse** (モデルナース) は  
病棟の投票で選ばれました。  
看護師のお手本になるような人です。

**Service Leader** (サービスマスター) は  
各部署から任命されました。  
率先して当院を盛り立ててくれる人です。

このバッジはゴールではなくスタートです。  
当院が目指すのは、やがてスタッフ全員が  
このバッジを胸に仕事してくれることです。  
その先に地域の人々に愛される病院像が立  
ち上がってくると信じているからです。



チーム医療の象徴として紫陽花をモチーフにデザインされています。